

平成 21 年度「地域密着型金融推進計画」上期の進捗状況

全体的な進捗状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

20 年度に引続き経済産業省「地域力連携拠点事業」の連携拠点の選定を受けた「おびしんふれあい相談室」では、21 年 4 月より「応援コーディネーター」を 1 名増員して 5 名体制とし、創業相談・各種経営相談・事業承継相談等に関係機関と連携を図りながら深度のある取り組みを実施し、より多くのお客様の相談ニーズに対応しています。

また、経営改善支援としては 151 社を支援先として選定して、経営改善計画の策定支援・経営アドバイスを実施するとともに、本部担当者が営業店を訪問し支援先への個別対応を行う等の営業店担当者の能力向上に向けた取り組みも行っています。経営改善成功事例については、当金庫ホームページにて公表しております。

今後も「中小企業再生支援協議会」等の各種機関との連携による事業再生支援への取り組みをより積極的に進めていく方針です。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

職員の目利き力および経営改善支援実務能力向上を目的とした研修の実施、各種セミナーへの職員派遣を積極的に行っております。また、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取り組みとして ABL 等の動産・債権譲渡担保融資を推進しており、研修の実施により職員の能力向上を図っているほか、日本動産鑑定との業務提携開始、全国肉牛事業協同組合の動産担保スキームを活用する等の融資手法の多様化を図っております。上期での融資実績は 7 件・337 百万円となっています。

今後も職員の能力向上に努め、これまで以上にお客様の多様なニーズに適切に対応した資金供給手法の推進に取り組む方針です。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域経済の活性化・産業振興を図り、地元金融機関としての責務をしっかりと果たしていけるよう、また、地域からの期待に着実にお応えできるよう、21 年 4 月に「地域経済振興部」を新設しました。地域経済の調査・研究、情報受発信、地域資源の掘り起こし・活用を支援するコーディネーター機能を拡充するとともに、外部関係機関・団体との連携により、十勝経済の振興に資するよう取り組んでまいります。

また、金融教育活動の実践として、各種団体等に対するセミナー等を実施するとともに、中・高校生を中心としたインターンシップ受け入れ等を行っています。(地域経済振興部の上期の主な取り組み実績は別紙のとおり)

4. 経営力の強化

総代および会員の皆様の意見を把握して経営計画や業務改善に反映させることを目的に、地区別総代協議会の開催と会員アンケートを実施しています。地区別総代協議会は毎年 8 ブロックに分けて開催しており、総代を通じて会員やお取引先の皆様の様々な意見をいただく貴重な意見交換の場となっています。会員アンケートは、総会員数の 1%に相当する 400 先を対象に実施し、6 月開催の通常総代会で結果報告を行い、意見等を経営に反映させる取り組みを行っています。また、ディスクローチャー誌は内容を充実させるとともに、より見易くいたしました。今後も会員やお取引先の皆様から多くの意見をいただき、強靱な経営体質の実現に向け取り組む方針です。

個別取組み策

項 目	具体的取組策	実 施 内 容
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新事業支援		
①創業ニーズへのサポート機能の一層の発揮	<ul style="list-style-type: none"> (1) 創業者支援制度の継続的取組み (2) 事業化支援評価委員会（目利き委員会）の活用 (3) しんきん地域活性ファンドの活用 (4) 北海道中小企業応援ファンドの活用 (5) 帯広畜産大学との連携強化 (6) 地域力連携拠点機能の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・おびしんふれあい相談室・営業店で創業融資実行 43 件、381 百万円 ・北海道中小企業応援ファンド申請 1 件(9/7) ・「第 24 回ビジネスプラン発表会」（北海道中小企業総合支援センター）1 名参加(9/16) ・十勝地域知的財産情報交換会に 2 回出席(6/17、8/20) <p>【年度目標】 創業融資件数 50 件 【半期実績】 " 43 件</p>
(2) 経営改善支援		
①経営相談ニーズへの積極的対応	<ul style="list-style-type: none"> (1) 補助事業等の公的制度等に関わる情報提供および申請支援の実施 (2) 財務書類の作成・後継者育成等に係る相談を含め、幅広い相談ニーズに対応 (3) 十勝版「産学官・金融連携システム」を活用した技術的課題への対応 (4) フードビジネスサポートネットワーク会議の継続開催によるフードビジネス事業者支援体制および官学との連携強化 (5) 各種ビジネスマッチングイベントへの出展斡旋 (6) 地域力連携拠点事業としてのビジネスマッチングの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小機構農商工連携プロジェクトマネージャーとの意見交換（4/23） ・十勝地域中小企業支援協議会開催(6/5) ・十勝・帯広地域農商工連携意見交換会（6/18） ・「各種助成金活用セミナー」（北海道労働局）2 名参加 ・「農商工連携ファンド助成事業等説明会」（北海道商工会連合会）1 名参加 ・「農商工等連携事例及び支援施策セミナー」（北海道中小企業団体中央会）1 名参加 ・地域力連携拠点事業「北洋銀行ものづくりテクノフェア」への出展者 1 先紹介
②取引先企業の経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> (1) 営業店担当者の経営改善支援能力向上に係る研修を実施および営業店訪問による個別指導 (2) 経営改善支援先の経営改善計画策定を支援し、その後のモニタリングおよび経営改善指導の実施 (3) 正常先から要注意先にランクダウンした先に対する早期の経営改善指導の取組み (4) ランクアップ事例（経営改善成功事例）の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援の選定に係る営業店訪問を全店実施、経営改善支援先 151 社（選定率 10%）を選定（内訳：継続先 118 社、新規先 33 社。継続先のうち、75 社に対する中間管理を実施。新規先 33 社のうち、計画作成済み 32 社、作成中 1 社） ・計画作成、中間管理、経営指導のための顧客面談延べ 40 社、営業店との打合せ延べ 25 社 ・当庫ホームページにて 20 年度「ランクアップ事例」を公表(6/9) <p>【年度目標】 ①経営改善支援先選定率 10%以上 ②経営改善計画策定率 100% ③ランクアップ率 10%以上</p> <p>【半期実績】 ①経営改善支援先選定率 10% ②経営改善計画策定率 97.0% ③ランクアップ率 6.0%</p>

項 目	具体的取組策	実 施 内 容
(3) 事業再生 ①取引先企業の再生支援に係る関係機関との連携	(1)十勝圏地域産業支援センターや帯広商工会議所との協議会の開催 (2)北海道の中小企業早期再生支援システムや中小企業再生支援協議会の利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域力連携拠点（当庫）主催の十勝地域中小企業支援連絡協議会に参加し、経営支援についての意見交換を実施（6/5） ・中小企業再生支援協議会の個別相談会に参加。個別相談案件はなかったものの中小企業再生支援協議会の活動状況、第二会社方式による事業再生についての意見交換を実施（6/15） ・日本公庫（中小企業事業）と挑戦支援資本強化特例制度利用に向けた打合せ（7/31、8/5）
(4) 事業承継 ①事業承継相談ニーズへの積極的対応	(1)「おびしんふれあい相談室」にて、自社株対策からM&Aに至るまで、事業承継に関する相談への積極的取組み (2)顧客向けセミナーと個別相談会の開催 (3)事業承継アドバイザーの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「中小企業の事業承継対策」セミナー（帯広地方法人会）2名参加 ・事業承継セミナー・個別相談会（当庫主催）を開催、セミナー受講者28名、個別相談3社（9/10） ・「事業承継アドバイザー試験」（金融検定協会主催）実施（当庫受験者4名全員合格）
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
(1) 融資判断力・目利き力の向上	(1) 目利き力の向上を目的とした研修の実施・派遣 (2) 融資判断力、経営改善支援実務能力の向上を目的とした研修の実施・派遣 (3) 中小企業診断士の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・「目利き力実践講座（全国信用金庫協会主催）」に1名派遣 ・目利き力および経営改善支援実務能力向上を目的に「審査部研修」を実施（各店融資担当者等33名受講） ・「企業再生支援講座（北海道信用金庫協会主催）」に2名派遣 ・「企業再生支援実践講座（全国信用金庫協会主催）」に1名派遣 ・「貸出審査能力養成講座（北海道信用金庫協会主催）」に2名派遣 ・中小企業診断士の養成～8月実施の1次試験に2名受験のうち1名が合格し、中小企業大学校東京校の中小企業診断士養成課程に書類選考申込
(2) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	(1)「目利き機能」の向上のための研修の実施 (2) 動産・債権譲渡担保融資、特にABLの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・トゥルーバグループホールディングス（株）主催ABLセミナー参加（2名） ・NPO法人 日本動産鑑定と業務提携開始 ・社）金融財政事情研究会主催ABL関連のセミナー参加（2名） ・石巻信用金庫よりABLに関する視察受け入れ（2名） ・社）中央畜産会より畜産における動産担保に関する視察受け入れ（4名） ・ABL等の動産・債権譲渡担保融資実行7件 337百万円

項 目	具体的取組策	実 施 内 容
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 年金・悪質詐欺犯罪・多重債務予防等の情報提供機能の発揮	<ul style="list-style-type: none"> (1) 老人クラブ・町内会・市町村等、地域住民を対象とした年金・振り込め詐欺・多重債務予防等に関するセミナー開催 (2) 「ふれあい通信」「年金関連情報」等の発行による金庫職員の相談能力の向上 (3) 「おびしんふれあい相談室」での多重債務顧客への親身かつ適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への情報提供に資する職員向け年金関連情報5回発行 ・「おびしんふれあい相談室」での多重債務顧客相談受付件数6件
(2) 金融教育活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> (1) 小中学生を対象とした金融経済体験学習の実施 (2) 高校生を対象としたジュニア・インターンシップを実施し、併せて多重債務問題防止に向けた啓蒙の実施 (3) 金融に関する学校授業に対し、出前講師として職員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・大樹高校「企業見学（本部）」2名受入（6/5） ・帯広工業高校「中央支店省エネルギー設備見学」40名受入（9/7）
4. 経営力の強化		
(1) ディスクロージャーの充実	(1) ディスクロージャー誌の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー基準を作成し、2009年版ディスクロージャー誌製作。カラーユニバーサルデザインに配慮した見易い誌面に変更 ・2009年版ディスクロージャー誌の縦覧開始（7/30）
(2) 総代意見・会員アンケートの経営への反映	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地区別総代協議会の開催による総代意見集約結果の金庫業務改善への反映 (2) 会員アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回会員アンケートで回答のあった317件（回答率79%）の調査結果を第95期通常総代会に報告するとともに、全店の窓口に備え置き希望者に配付 ・寄せられた意見・要望については、優先度合、コスト等を検討し、可能なものから改善に着手 ・地区別総代協議会での意見・要望について、改善可能なものから順次対応

地域経済振興部の上期の主な取組み実績

1. 情報の受信機能

- ☆ 管内の経済情勢に関する調査、主要経済指標の収集・分析、「十勝の景気動向調査」・「特別調査」の実施

2. 情報の発信機能

- ☆ 「管内経済指標概況」をホームページで公表(毎月)
- ☆ 「十勝の景気動向調査」・「特別調査」の結果をプレスリリースと同時にホームページで公表(6月、9月)
- ☆ 十勝の産業・経済の動向について取りまとめた季刊誌「NEXT WAVE」(4月に79号、7月に80号)を発行
- ☆ 21年度「おびしん地域経営塾」の開講(7月)
- ☆ 帯広畜産大学との共同研究に着手(21年度「十勝型地産地消と地域密着型フードシステムの展開に関する研究」)
- ☆ 「総代向け夏季連続セミナー」の企画・実施(8月)
- ☆ 金融経済教育の一環として、高校からのインターンシップの受入れ(6月、9月)
- ☆ 十勝管内の機関・団体の総会・会合や市民大学講座、全国信用金庫協会主催セミナー等における講演

3. リエゾン・コーディネータ機能

- ☆ 三島信用金庫との業務連携・人事交流(同金庫職員の当部での研修受入れ<7~10月>と静岡県東部とのビジネスマッチング等の準備)

※「リエゾン・コーディネータ」とは「橋渡し役・調整役」の意味で、ここでは、例えば特産品、観光資源、人材や技術など十勝が誇るさまざまな地域資源について、管内外からのニーズに応えられるようマッチングなどの支援を行う人や組織のことを言います。